

はじめての朗読 —聴き手の心に届けるために—

クラス
コード **63A12**

曜日時限 土曜13:35~16:45

受講料 22,000円

定員 20名

単位 2単位

概要 読み手の個性を大切にしたい朗読を目指す、初心者のための講座です。朗読とは、作品に描かれた世界を、作者に代わって音声で聴き手に届けることです。語り手の勝手な感情やテクニックを聞かせるものではありません。朗読の基本を楽しく身につける講座です。

講師 梅津 正樹

獨協大学講師 アナウンサー NHK日本語センター専門委員 専門/日本語・コミュニケーション・音声表現(朗読等)
47年間アナウンサーとして報道番組・朗読・日本語関連番組を担当。大学院で日本語教育、学部でコミュニケーションを担当

テキスト プリントを配付します

内容 5月11日~7月6日(全10回/1日2回)

- 5月11日 自然な声で伝えるために 聴き手の心に響く声は、美しい作り声ではなく、自分の自然な声です。自然な発声と、聞きやすい発音の基本を学びます。そして、音声表現で一番大切な、意味通りのイントネーションを徹底的に習得します
- 5月25日 話すように読む1 書かれている文章を、意味通りに伝えるためには、読み口調ではなく、話し口調に近づけて読むことです。告知文などを題材に情報を分かりやすく伝える練習をします。さらに間とその役割、句読点の扱い、台詞や感情移入などの音声表現の基本を考えます
- 6月8日 話すように読む2 国語の教科書など、比較的平易な文章を読みます。聴き手を小学生に想定して、その反応を意識しながら読んでみましょう。大切なことは聴き手の生理・息遣いです。読み手の都合に合った息遣い、読み口調では、聴き手は内容を正しく理解できません
- 6月22日 随筆を読む 随筆は、作者自身の想いが綴られています。作者に代わってその気持ちを聴き手に届けます。作者の心情・心の動きなどを読み解き、表現してみましょう。大切なことは、作者の価値観や背景、文に込められた思いを理解することです
- 7月6日 小説を読む 短編または長編の一部を読んでみます。作品の描かれている世界、作品全体の構成と部分との関係・文意などを、事前に黙読・熟読し解釈します。聴き手が読み手の朗読を聞きながら、その作品の世界を忠実に想像できれば完璧です